

女子部更新実技研修会

8月26日(日)に、香取市立佐原第五中学校で女性対象の実技更新講習会を開催しました。毎年、香取市サッカー協会のご協力を得て、香取市ジュニアユースサッカー大会で実技講習を実施しています。今年は例年にない暑さで体調不良を訴える講習生が続出。前半と後半で主審を交替するなど、割当を基本にしつつも臨機応変に対応して下さる受講生とインストラクターの機転のおかげで、無事に1日の講習が終わりました。

佐原第五中学校の先生がたのご配慮で冷房の効いた部屋を開放いただき、フィードバックを快適な空間で行えましたし、審判の合間に涼をとらせていただき、英気を養って試合に臨むことができました。

派遣講師の黒一点の五十嵐さん、女子部からは千葉さん、遠藤さんの3人で、6試合をアセスメントしていただき、ときには副審の後方から一緒に走ってアドバイスしてくださったり、実際に審判をして手本を見せてくださったりと、内容豊富な充実した講習会となりました。その場でアドバイス、改善点を挙げていただき、なぜそうすることが有益なのかを説明してもらい、わからないことはその場で質問ができ、腑に落ちたことが多くありました。講師の五十嵐さん、千葉さん、遠藤さんに総括していただいた点をここで引用、ご紹介します。

・FK マネジメント(フリーキックを与えるということ)

クイックスタートの保証をしつつ、プレーヤー、チームの意図を感じる、試合の流れも考慮

・動き出しについて(攻守の切り替えやフリーでボールを持っている時)

次の場所への移動を開始するために必要な情報収集、夏場の暑さの中、体力の消耗を抑えるためにも、ジョギングを利用した移動、常に早めの移動を意識して効果的に、そして必要なときにスプリントができるようにする。

・シグナル(腕を伸ばす、など審判員として信頼できる「見た目」とは)

判定や体力と違い、意識をすればできることなので、美しさも追い求めましょう。

競技規則テストを予定していましたが、時間の確保が難しく、テストを講習生に渡して各自で確認していただくことになりました。



受講生のアンケートを紹介します(一部、省略、一部改変しています)。

- ・いつにない暑い、暑い研修会でしたが、千葉さん、五十嵐さんのありがたいお話がたくさん聞けて楽しかった。クーリングブレイクも体験して、みんなが慣れて、スムーズに対応できるようになると良い。
- ・オフサイドラインの確認をして、遅れるのを怖がるのではなく、ピンポイントで確実に判定するなど初心に戻り、基本に忠実にすることを再確認できました。
- ・暑さの中、体力の無さを実感したものの、インストラクターの五十嵐さんに適切なアドバイス(オフサイド、明らかなファウル、フリーキックのときのポジショニングなど)をもらったことを次の試合に活かします。
- ・課題を再確認できた。体力、判断力をもっとつけたい。
- ・毎年参加していますが、いつも得るものがあり勉強になります。ルールの確認にしても、一日審判に携わり、同じ仲間と共有することができる貴重な時間を過ごせます。
- ・3級に昇級するのは初めての更新なのと、普段レフェリー活動ができていない部分でとても不安でしたが、女性だけだったので、いろんな人の話が聞け、終わることができました。経験が少ないので、もう少し活動をしないと、と感じました。インストラクターにも的確なアドバイスを頂き、忘れないうちに自分のものにしたいと思います。
- ・はじめて参加しました。これから先、割当や研修で、頼るだけでなく、助け合えるようにスキルアップしていきたいです。
- ・選手がサッカーに集中できるように、ゲームのコントロールができるようになればいいと毎回思います。来年も参加できるように努力していきたいです。
- ・仕事とのバランスを取りながら、トレーニングを増やして、体力をつけたいと思います。

香取市サッカー協会、佐原第五中学校の先生方と生徒のみなさん、大会に参加されたチームのみなさんのご理解を得て、貴重な機会をいただき、感謝しかありません。この場を借りて御礼申し上げます。

女性審判員のみなさん、来年は是非、参加してみませんか？アットホームな雰囲気千葉県各所から集まる仲間と日頃のレプリングの悩みを話し、解消しましょう！女性だからこそその利点もありますが、あれこれ不便なことの解決策も見いだせるかもしれません。